

# 講演会型＋子育てサロン型＋在宅取組型（幼稚園）

学校名等	神戸町立南平野幼稚園
実施日時	平成30年9月12日(水) 在宅取組9月13日(木)～17日(月)
会場	南平野幼稚園遊戯室・各家庭
参加人数	63名
学習課題（分野）	講演会 『ほめる子育て』 子育てサロン 『茶話会』 在宅取組 『ステキみつけ』
運営者の願い	生活を共にする親の接し方、言葉の掛け方は子どもの人格形成に大きく影響する。日々の忙しさの中で子どもとの関係性がどうなっているのか、一度立ち止まって考えるきっかけづくりとして、講師を招いて子育てを楽に楽しくするコツを教えてください、子どもへの接し方や言葉の掛け方を学ぶと共に、子どもはもちろん、親自身の自己肯定感を育む。



## ＜参加しやすい工夫＞

- ・町内四園の保護者合同研修会として以前は1つの会場に集まって行っていたが、参加者を多くするため、現在は、各園に講師に出向いていただいている。
- ・登園してからすぐに講話を行ったり、託児を設けたりすることで、保護者が参加しやすいようにした。

## 学 習 の 内 容

### ＜講演会 『ほめる子育て』＞

講師：mama 育トレーナー 大西 ますみ氏

時間：9：00～10：15

内容：☆mama 育とは…子どもの生きる力を育みながらママの心を軽くする心理学講座。

☆生きるために必要な4つのストローク(対人刺激・言葉掛け)

- (1)条件付き＋のストローク…～したらおやつあげるね
- (2)条件付き－のストローク…～していないからおやつは無しだよ
- (3)無条件＋のストローク …抱きしめる、ありがとう、寄り添って話を聞く
- (4)無条件－のストローク …うるさい、あっち行って、相手の存在を否定する

・大切なことは、(3)の無条件＋のストロークをどんどん増やすことである。この無条件＋のストロークを子ども自身が足りていないと感じると、－のストロークでもいいから親の言葉をもらおうとする。その結果、親を困らせるような行動・発言をする。

そして、(2)(4)の－のストロークばかりしていると、どんどん問題行動がエスカレートしていくので、注意が必要である。

しかし、「ありがとう」「助かったよ」を言葉で伝えるだけで、子どもの心は満たされ、自己肯定感が高まり、問題行動も落ち着いてくる。

- ・「〇〇ちゃんありがとう」「〇〇ちゃんおかえりなさい」など、名前を言って声を掛けると、子どもは認められていると思う。
- ・褒めることは大切であるが、それよりも子どもが自信をもつ言葉掛けや認める言葉掛けをしていくとよい。

☆自己肯定感とは、ありのままの自分を良しとし、自分の存在を認める感情。

- ・自己肯定感の高い子どもは、何事にも挑戦していくことができ、自分自身を大切に出来たり、心に余裕があるので他人にも優しく接することができる。そして、自分の力で人生を切り開いていく力がある。

### ＜茶話会 親同士も交流を深める場をもつ＞

時間：10：15～11：00

内容：お茶とお菓子をいただきながら、普段なかなか話す機会のない同年齢や異年齢の保護者と交流し、講演内容について感じたことや、子どもの日頃の様子や子育ての悩みなどを気軽に話し合った。

### ＜ステキみつけ『子どものステキ♡みつけよう』＞

目的：講演会の内容を家庭で実践する。

子どもの良い姿や成長を感じたり、認められることで喜ぶ子どもの姿を見たりして、親も子ども幸せになれる時間をもつ。

期間：9月13日(木)～9月17日(月)

回収：9月18日(火) 回収後は、クラス毎に紙に貼り、テラスに掲示した。

方法：親が一方的に書くのではなく、子どもと一緒に子どもの前でステキなところを書き、ごほうびシールを子どもの前で貼る。貼った後に、ギュッと抱きしめて褒める。



## ＜講演会の進め方＞

- ・サロン形式で、シェアやワークを交えながら、保護者同士の交流にもなるよう勧められた。



## ＜学びを実践に＞

- ・講話を聴いただけで終わらないよう、講演後に、その内容を受けて自由に話し合う場をもった。
- ・講話内容に合わせて各家庭で取り組めるよう講話内容の文書と一緒に『ステキみつけ』カードとシールを配布した。
- ・カードは回収し、クラス毎に大きな紙に貼り各クラスのテラスに掲示した。

### 「ステキみつけ」に取り組んだ保護者の感想

- ・小さなことでも子どもの優しさや成長に気付くことができました。
- ・子どもが自分で意識し、手伝ったり気遣ったりしてくれました。
- ・良いところを伝えると、少し照れたようで、嬉しそうに「ありがとう」という姿を見て、こういう時間の大切さを実感しました。

